

材料系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

材料系では、特に次のような学生を求めます。

- ・物質や材料が関与する現象に興味を持ち、未知の内容を理解、解明しようとする積極性を有する人
- ・材料学の知見を活かして、社会や環境と調和した人類の発展に貢献する意欲がある人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般入試（前期）】《全類共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【特別入試（AO入試）】

《2類》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

- ・筆記試験においては、基礎学力と応用力を問う材料に関する設問により、特に論理的な思考力と記述力を評価します。
- ・面接試験においては、自然科学に対する考え方等について試問し、材料学を学ぶうえで必要な適性を評価します。

材料系（学士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 材料工学分野の基礎学修

必修科目による材料熱力学・材料量子力学・材料科学実験の学修

B) 材料工学分野の専門学修

専門基礎科目に対応した必修科目である実験・演習と、豊富な専門選択科目による理論の基礎を学ぶ学修

C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

学生自らがテーマを発掘する創造実験などに加え、専門相談教員との対面修学指導、研究室公開などを通じた、主体的に取り組む力をつける学修

D) 社会との関わりを追体験する学修

国内外の社会との接点を持つことによる、専門科目を通しての追体験学習や技術者倫理の学修

E) コミュニケーション能力の強化学修

学士特定課題研究の論文作成に要求される文書化力と、発表会・ゼミ等を通じた発表力の養成学修

ディグリー・ポリシー（修得する力）

材料系では、次のような力を修得することができる。

- ・金属材料，有機材料，無機材料の開発に必要な理工系基礎学力と論理的思考力
- ・材料に関する諸問題について自分自身で解を見出す創造力と見出した解から「もの」を作り上げる創成力
- ・国際的・社会的環境に順応できる幅広く豊かな教養と技術に関する高い倫理観
- ・他者の意見を尊重しつつ自分の意見を論理的に表現できるコミュニケーション能力とリーダーシップ力